

愛知の教育の現状と取組

目 次

I 統計データで見る愛知の教育の現状

1	在学者数	P 2
2	1学級当たりの児童生徒数	P 3
3	学校数	P 4
4	高等学校における学科	P 5
5	中高一貫教育校数	P 6
6	学力（公立小学校）	P 7
7	学力（公立中学校）	P 8
8	体格	P 9
9	体力	P 10
10	いじめ・不登校・暴力行為	P 11
11	高校・大学等への進学率	P 12
12	愛知県内の高校から愛知県内の大学に進学した学生の割合	P 13
13	日本語指導が必要な外国人児童生徒数	P 14
14	インターナショナルスクール	P 15
15	外国人高度人材、留学生	P 16
16	モノづくりを支える人材	P 17
17	創造的活動人材	P 18

II 愛知の教育の特色ある取組

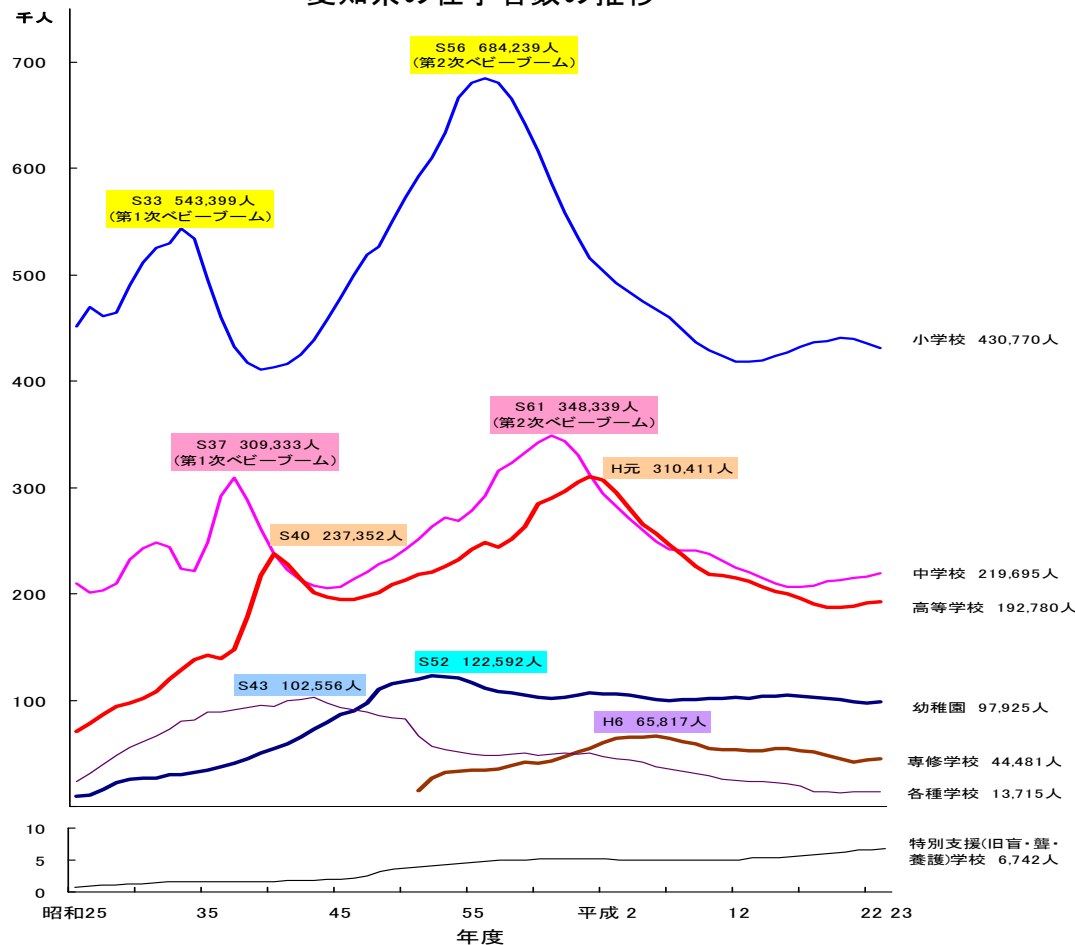
	愛知県教育振興基本計画	P 20
	少人数教育	P 21
	高校教育の多様化(1)	P 22
	高校教育の多様化(2)	P 23
	愛知県の公立高校の入試制度	P 24
	発達段階に応じたキャリア教育	P 25
	私学助成	P 26
	最近のトピックス	P 27

I 統計データで見る 愛知の教育の現状

1 在学者数

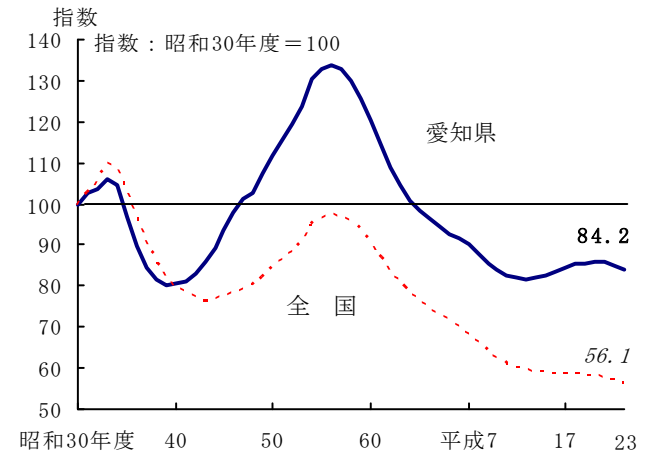
- 愛知県の在学者数は、第2次ベビーブーム世代が学齢期であった時期をピークに減少しているものの、この10年程度は、ほぼ横ばいの動き。
- 少子化を反映し、全国の在学者数が大きく減少しているのに対し、減少幅は少ない。
- 愛知県の年少人口の予測を見ると、今後、在学者数は徐々に減少していくものと想定される。

愛知県の在学者数の推移

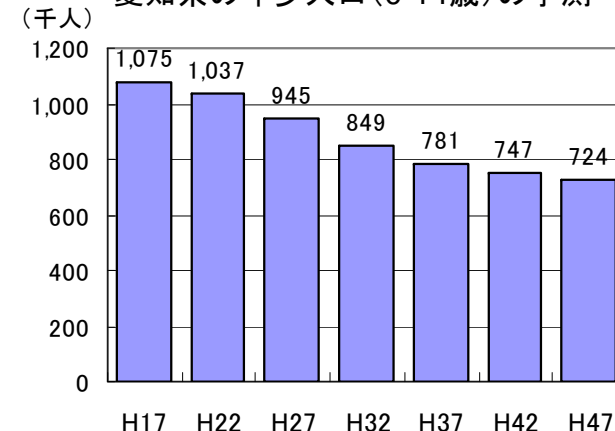


資料: 文部科学省「学校基本調査」

小学校在学者数の推移(愛知県・全国比較)



愛知県の年少人口(0-14歳)の予測



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口」

2 1学級当たりの児童生徒数

- 1学級当たりの児童生徒数を都道府県別に見ると、愛知県は、小学校で5番目、中学校で4番目に多くなっている。
- 1学級当たりの児童生徒数は、都市部の都府県が多いという傾向が見られる。

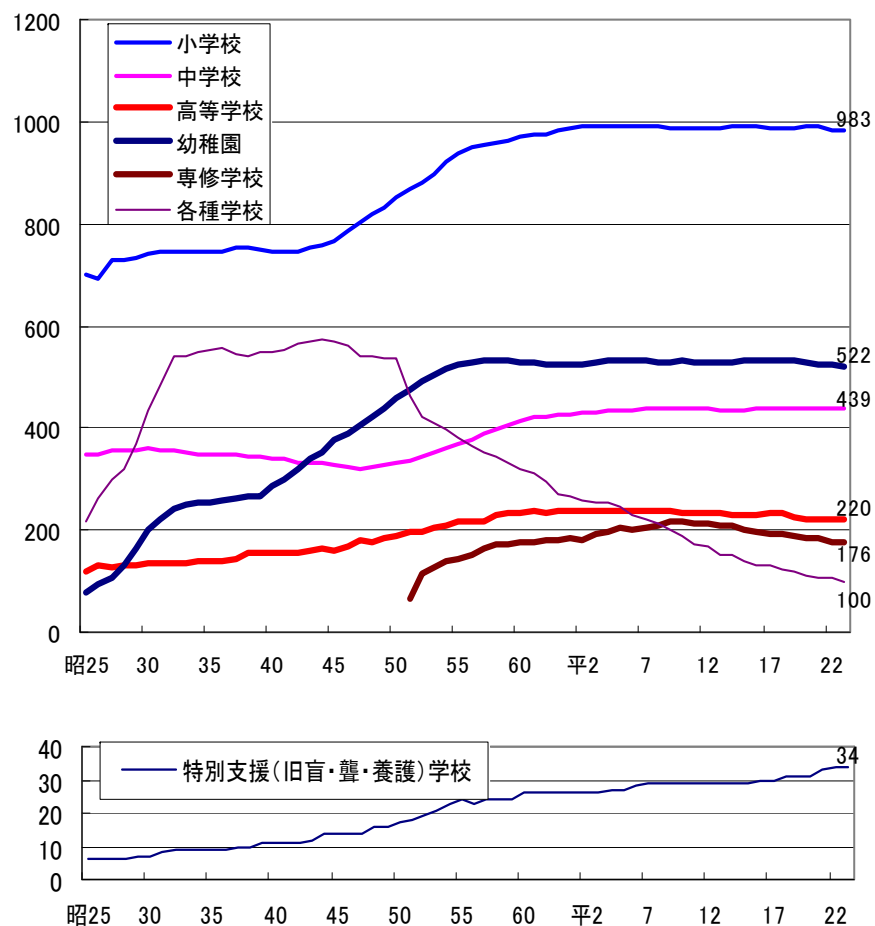
1学級当たりの児童生徒数(平成23年度・公立)

小学校			中学校		
順位	都道府県名	(人)	順位	都道府県名	(人)
全国平均	—	24.8	全国平均	—	28.8
1	東京	29.8	1	東京	32.2
2	埼玉	29.0	2	埼玉	32.3
3	神奈川	28.0	3	神奈川	30.9
4	静岡	27.6	4	愛知	31.3
5	愛知	27.1	5	兵庫	31.0
6	大阪	26.5	6	大阪	30.7
7	福岡	26.3	7	福岡	30.6
8	千葉	26.3	8	沖縄	30.5
9	沖縄	26.2	9	千葉	30.5
10	兵庫	25.7	10	富山	29.6

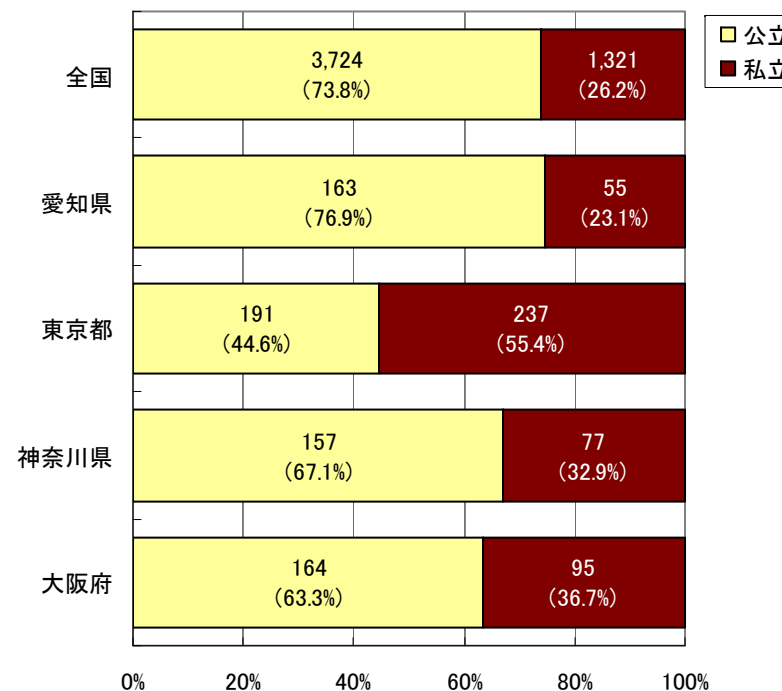
3 学校数

- 学校数は、小学校、中学校、高等学校いずれも、この20年程度はほぼ横ばいで推移。
- 高等学校の学校数を公立・私立別に見ると、公立が全体の3／4以上を占め、全国平均を上回っている。

愛知県の学校数の推移



高等学校数の公立・私立の割合(平成22年度)

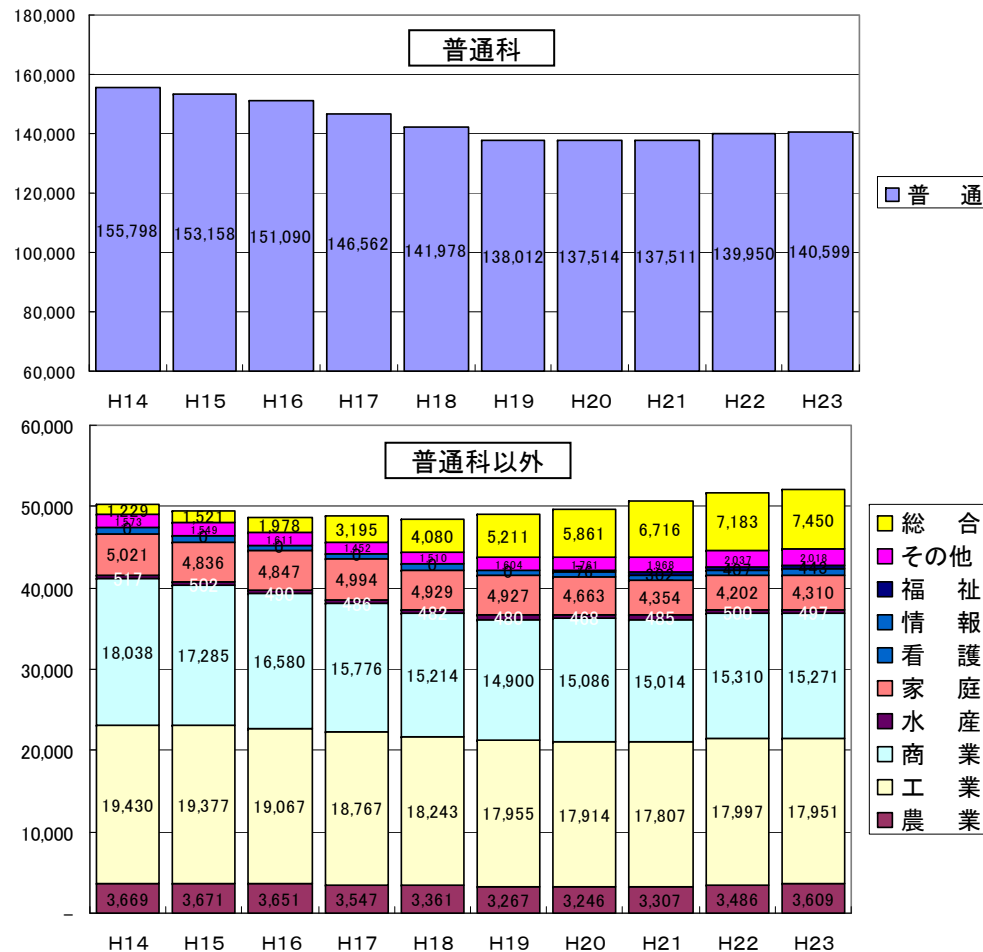


資料: 文部科学省「学校基本調査」

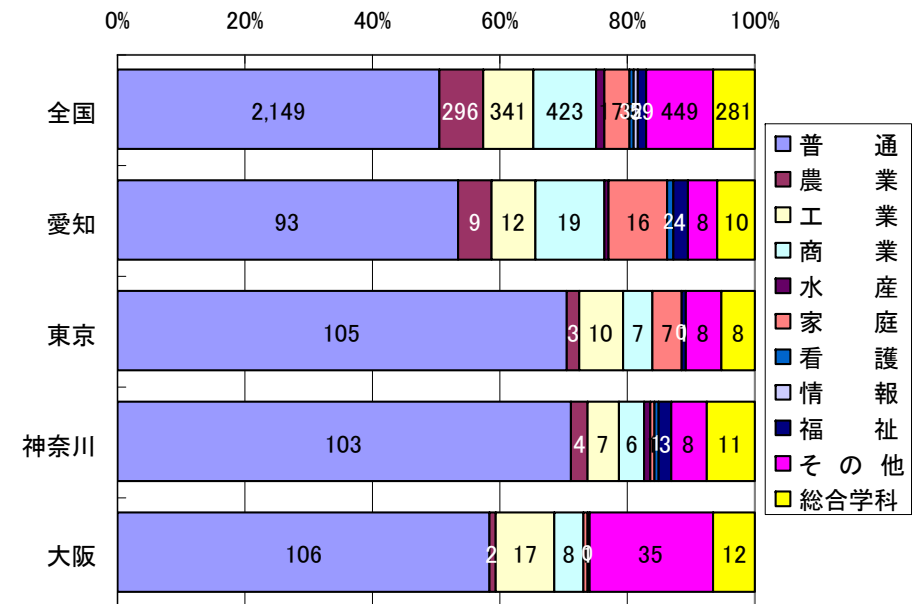
4 高等学校の学科

- 高等学校の学科別の生徒数の推移を見ると、普通科、商業科、工業科、家庭科などが減少しているのに対し、総合学科が大幅に増加している。
- また、高等学校の学科を都道府県別に見ると、普通科の割合は全国より若干上回っているものの、東京、神奈川、大阪などの都市部の都府県の中では低く、専門学科の割合が高くなっている。

愛知県の公立高等学校の学科別の生徒数の推移



公立高等学校の学科設置数の主な都府県との比較

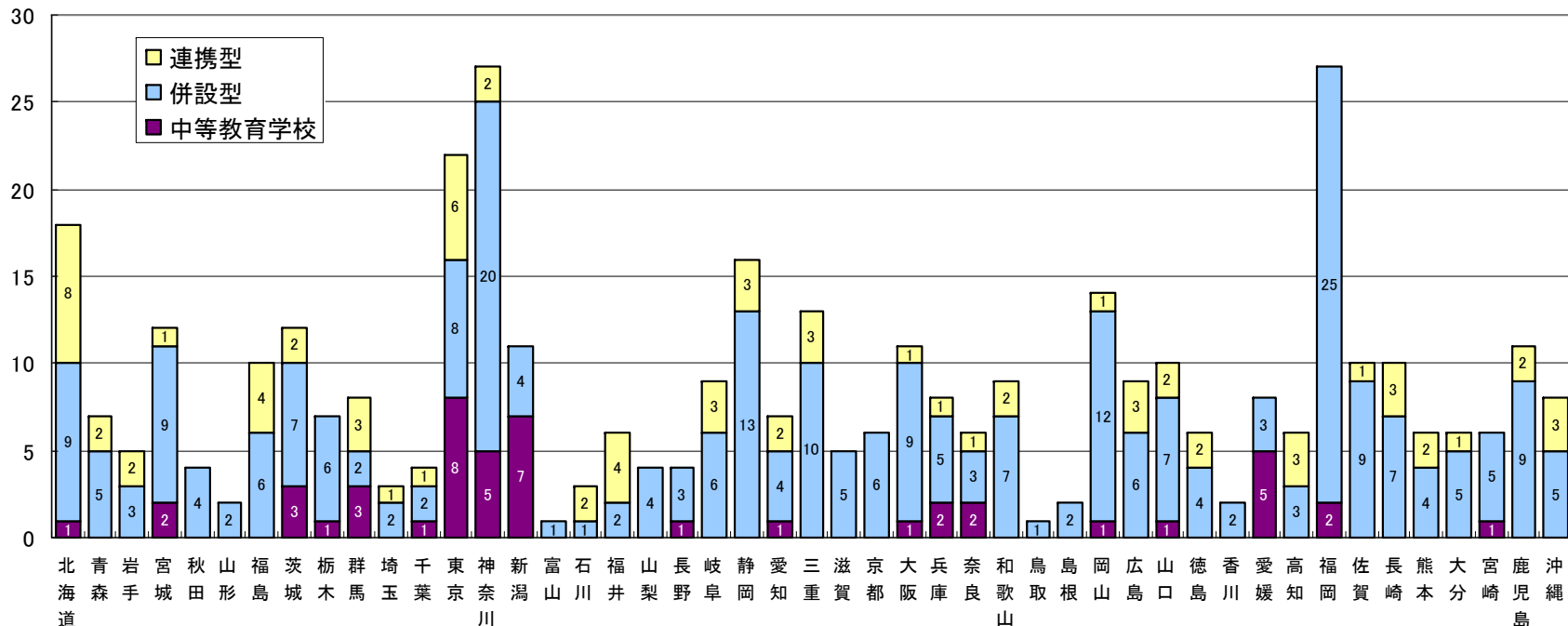


資料:文部科学省
「学校基本調査」

5 中高一貫教育校

- 中高一貫教育校は、神奈川県、福岡県、東京都で多く、設置形態別では、併設型が多い。
- 愛知県の中高一貫教育校は、7校であり、中等教育学校が1校(私立)、併設型4校(私立)、連携型2校(公立)。

中高一貫教育校数(設置形態別)-都道府県別-



- ◆中等教育学校：一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行うもの
- ◆併設型：高等学校入学者選抜を行わずに同一の設置者による中学校と高等学校を接続するもの
- ◆連携型：異なる設置者間でも実施可能な形態であり、中学校と高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で通行一貫教育を実施するもの

資料:文部科学省
「学校基本調査」

6 学力(公立小学校)

○ 平成22年度の全国学力・学習状況調査の結果は、算数Bが全国平均となっているが、そのほかの国語A、国語B、算数Aについては、全国平均を下回っている。

全国学力・学習状況調査(公立小学校:6年生)

A:主に知識を問うもの

B:実生活などへの活用を問うもの

国語A		国語B		算数A		算数B	
正答数	都道府県	正答数	都道府県	正答数	都道府県	正答数	都道府県
13.4	秋田	8.5	秋田	15.8	秋田	7.1	秋田
13.1	青森	8.1	青森、福井、鳥取、 広島、香川	14.9	福井、京都	6.5	福井
13.0	福井	8.0	岩手、京都	14.8	青森	6.3	青森、東京、京都
12.9	鳥取	7.9	山形、埼玉、東京、 神奈川、石川、長野、 岐阜、奈良、山口	14.7	広島	6.2	石川、鳥取、広島
12.8	岩手、富山、京都、 広島	7.8 平均	宮城、千葉、新潟、 富山、静岡、滋賀、 兵庫、島根、徳島、 高知、熊本、鹿児島	14.5	東京、富山、石川、鳥取	6.1	千葉、神奈川、富山、香川
12.7	山形、東京、石川、 鹿児島	7.7	福島、茨城、栃木、 山梨、 愛知 、岡山、 愛媛、福岡、長崎、 宮崎	14.4	岩手	6.0	奈良、山口、徳島
12.6	埼玉、新潟、長野、 奈良、岡山、山口、 徳島、香川、宮崎	7.6	群馬、大阪、和歌山、 佐賀、大分	14.3	徳島、香川、高知、熊本	5.9 平均	岩手、山形、茨城、栃木、 埼玉、 愛知 、岡山、熊本
12.5 平均	宮城、福島、茨城、 群馬、千葉、神奈川、 岐阜、兵庫、福岡、 熊本	7.5	三重	14.2	栃木、埼玉、大阪、奈良	5.8	新潟、長野、岐阜、静岡、 大阪、兵庫、愛媛、高知、 福岡、大分
12.4	栃木、静岡、滋賀、 和歌山、愛媛、高知、 佐賀、長崎	7.4	北海道、沖縄	14.1 平均	山形、千葉、神奈川、長 野、宮崎、山口	5.7	宮城、群馬、三重、滋賀、 和歌山、長崎、宮崎
12.3	山梨、三重、大阪、 島根、大分			14.0	宮城、茨城、群馬、新潟、 兵庫、和歌山、長崎、 鹿児島	5.6	福島、山梨、島根、佐賀、 鹿児島
12.2	愛知			13.9	福島、静岡、 愛知 、愛媛、 福岡、佐賀、大分	5.4	北海道
12.0	北海道、沖縄			13.8	岐阜、三重、滋賀、岡山	5.3	沖縄
				13.7	山梨		
				13.5	島根		
				13.1	北海道、沖縄		

7 学力(公立中学校)

○ 平成22年度の全国学力・学習状況調査の結果によると、愛知県の公立中学校は、国語A、国語Bで全国平均、数学A、数学Bでは、全国平均を上回っている。

全国学力・学習状況調査(公立中学校:3年生)

A:主に知識を問うもの

B:実生活などへの活用を問うもの

国語A

正答数	都道府県
27.9	秋田
27.8	福井
27.5	富山
27.1	石川、岐阜、島根
27.0	青森、鳥取
26.9	山形、群馬
26.8	岩手、静岡
26.7	宮城、東京、香川
26.6	広島、長崎
26.5	新潟、奈良、山口
26.4	茨城、千葉、山梨、熊本
26.3 平均	福島、神奈川、 愛知 徳島、愛媛
26.2	北海道、栃木、埼玉、滋賀、京都、兵庫、岡山、宮崎
26.1	大分
26.0	長野、三重、福岡、鹿児島
25.9	佐賀
25.4	高知
25.3	和歌山
25.1	大阪
23.7	沖縄

国語B

正答数	都道府県
7.2	秋田
7.1	福井
7.0	富山
6.9	山形、群馬
6.8	石川、岐阜、静岡、島根
6.7	青森、宮城、千葉、東京、新潟、山梨、鳥取、山口、長崎、熊本
6.6	茨城、栃木、埼玉、広島、香川、宮崎、
6.5 平均	岩手、福島、神奈川、 愛知 、兵庫、奈良、愛媛、福岡、佐賀
6.4	長野、三重、滋賀、京都、岡山、徳島、大分、鹿児島
6.3	北海道
6.2	和歌山
6.1	高知
6.0	大阪
5.8	沖縄

数学A

正答数	都道府県
26.0	福井
25.5	秋田
24.7	富山
24.5	石川、香川
24.4	岐阜、徳島
24.2	静岡
24.1	群馬、 愛知 、兵庫、奈良
24.0	青森
23.9	長崎
23.8	滋賀、鳥取、山口
23.7	愛媛
23.6	東京、熊本
23.5	三重、宮崎
23.4	山形、和歌山
23.3 平均	島根、広島
23.2	宮城、神奈川
23.0	茨城、栃木、千葉、岡山
22.9	埼玉、京都、佐賀
22.8	新潟、山梨
22.6	福島
22.5	長野、大阪、大分、鹿児島
22.4	福岡
21.7	岩手
21.4	高知
18.4	沖縄

数学B

正答数	都道府県
7.4	福井
7.0	秋田
6.9	富山
6.8	岐阜
6.6	石川
6.5	群馬、静岡
6.4	愛知 、長崎
6.3	兵庫、奈良、山口、熊本
6.2	青森、宮城、山形、東京、滋賀、鳥取、徳島、愛媛
6.1 平均	茨城、千葉、神奈川、島根、広島、宮崎
6.0	栃木、埼玉、山梨、三重
5.9	福島、新潟、京都、和歌山、岡山、福岡、佐賀
5.8	北海道、長野、大分
5.7	岩手、鹿児島
5.5	大阪
5.1	高知
4.2	沖縄

資料:文部科学省「平成22年度全国学力・学習状況調査結果について」

8 体格

○ 子どもの体格(中学2年生)は、身長・体重ともに、全国平均を下回っている。

体格と肥満度に関する調査〔公立：中学2年生〕
(平成22年度)

男子・身長

順位	都道府県	身長 (cm)
全国平均	—	159.72
1	秋田	162.05
2	青森	161.61
3	北海道	161.22
4	山形	161.08
5	新潟	160.70
6	富山	160.70
7	宮城	160.65
8	石川	160.46
9	岩手	160.44
10	福島	160.02
32	愛知	159.36

男子・体重

順位	都道府県	体重 (kg)
全国平均	—	48.89
1	秋田	52.15
2	青森	51.97
3	山形	51.33
4	岩手	50.38
5	北海道	50.27
6	宮城	50.22
7	徳島	50.21
8	福島	50.01
9	富山	49.94
10	山梨	49.57
42	愛知	48.03

女子・身長

順位	都道府県	身長 (cm)
全国平均	—	154.93
1	青森	155.73
2	秋田	155.63
3	山形	155.57
4	新潟	155.50
5	神奈川	155.46
6	北海道	155.41
7	石川	155.38
8	富山	155.34
9	東京	155.33
10	滋賀	155.33
30	愛知	154.74

女子・体重

順位	都道府県	体重 (kg)
全国平均	—	46.99
1	青森	48.99
2	秋田	48.83
3	山形	48.50
4	福島	48.25
5	栃木	48.09
6	徳島	47.96
7	岩手	47.92
8	宮城	47.69
9	群馬	47.55
10	石川	47.52
38	愛知	46.50

9 体力

○ 平成22年度の体力テストの結果は、小学校5年生、中学2年生の男女ともに、全国の平均を下回っている。

実技に関する調査（平成22年度）

小学校5年生 （公立・男子）

順位	都道府県	体力合計点
全国平均	—	54.36
1	福井	58.30
2	秋田	57.21
3	新潟	56.55
4	千葉	56.54
5	茨城	56.43
6	島根	55.68
7	石川	55.65
8	富山	55.46
9	岩手	55.41
10	鳥取	55.39
36	愛知	53.44

握力、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げの合計

小学校5年生 （公立・女子）

順位	都道府県	体力合計点
全国平均	—	54.89
1	福井	59.96
2	秋田	58.93
3	茨城	58.46
4	新潟	57.71
5	千葉	57.32
6	島根	57.12
7	岩手	57.02
8	石川	56.78
9	鳥取	56.74
10	埼玉	56.59
37	愛知	53.59

握力、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げの合計

中学校2年生 （公立・男子）

順位	都道府県	体力合計点
全国平均	—	21.23
1	宮崎	22.81
2	福井	22.71
3	沖縄	22.59
4	秋田	22.39
5	石川	22.24
6	茨城	22.12
7	岩手	22.00
8	岐阜	21.95
9	山形	21.94
10	岡山	21.91
37	愛知	20.75

握力、反復横とび、持久走1500m、50m走、ハンドボール投げの合計

中学校2年生 （公立・女子）

順位	都道府県	体力合計点
全国平均	—	48.14
1	福井	52.99
2	茨城	52.17
3	千葉	52.16
4	静岡	51.37
5	埼玉	51.28
6	秋田	51.17
7	岐阜	50.40
8	新潟	50.36
9	鳥取	50.10
10	岩手	49.94
32	愛知	47.34

握力、反復横とび、持久走1000m、50m走、ハンドボール投げの合計

資料：文部科学省「平成22年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査」

10 いじめ・不登校・暴力行為

- 平成22年度のいじめの認知件数（小・中学校、高校、特別支援学校）、不登校児童生徒数（小・中学校）は全国平均を上回っている。
- 一方、暴力行為発生件数は、全国平均を下回っている。

いじめの認知件数(小・中・高・特)
(1,000人当たりの認知件数)【平成22年度】

順位	都道府県名	件数
全国平均	—	5.5
1	熊本	27.6
2	大分	19.3
3	岐阜	15.2
4	千葉	12.9
5	愛知	10.9
6	群馬	10.8
7	石川	9.8
8	北海道	8.3
9	静岡	8.2
10	福井	8.1

不登校児童生徒数数(小・中学校)
(1,000人当たりの児童生徒数)【平成22年度】

順位	都道府県名	件数
全国平均	—	11.3
1	神奈川	14.0
2	岡山	14.0
3	徳島	13.4
4	高知	13.2
5	奈良	13.1
6	島根	13.0
7	栃木	12.9
8	鳥取	12.9
9	大分	12.6
10	宮城	12.4
13	愛知	12.1

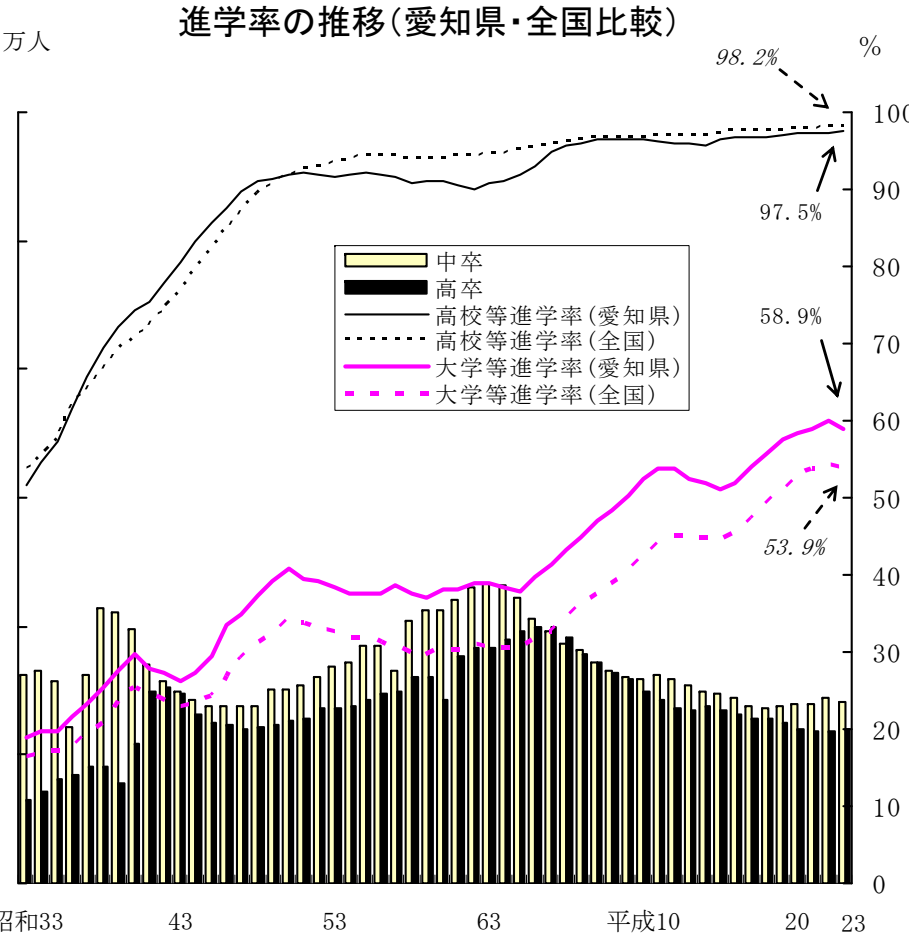
暴力行為の発生件数(小・中・高等学校)
(1,000人当たりの認知件数)【平成22年度】

順位	都道府県名	件数
全国平均	—	4.3
1	岡山	11.3
2	香川	9.7
3	京都	9.4
4	大阪	8.6
5	神奈川	8.0
5	高知	8.0
7	奈良	7.6
8	岐阜	5.5
9	兵庫	5.5
10	茨城	5.3
35	愛知	2.4

資料:文部科学省「平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

11 高校・大学等への進学率

- 愛知県の高校等への進学率は、このところほぼ横ばいで推移しており、平成23年度は、97.5%と全国44位となっている。
- 一方、大学等への進学率の推移は、全国を上回る形で上昇が続いており、平成23年度は58.9%と全国6位となっている。



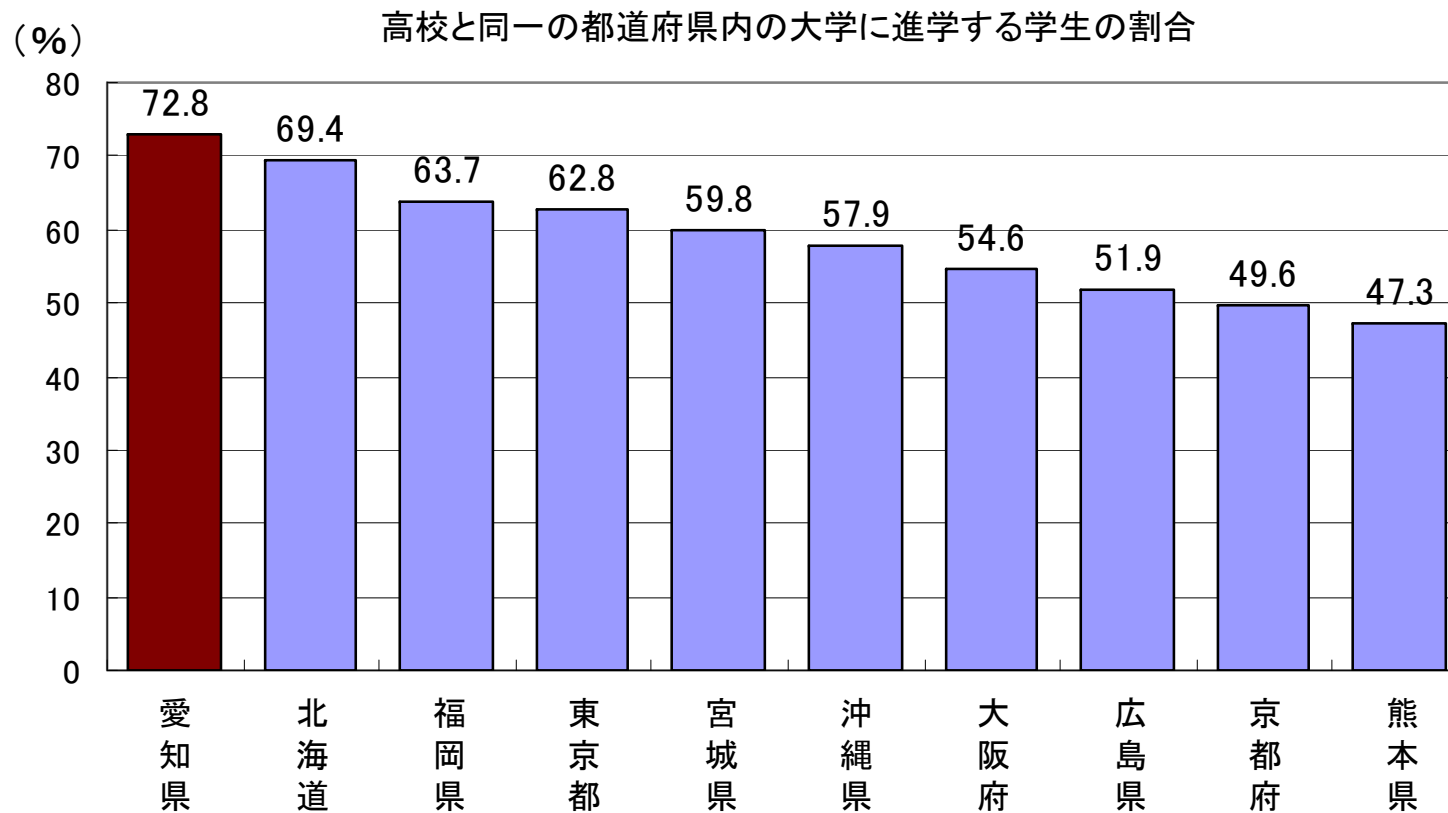
進学率の全国順位(平成23年度)

高校等進学率			大学等進学率		
順位	都道府県名	(%)	順位	都道府県名	(%)
全国平均	—	98.24	全国平均	—	53.86
1	新潟	99.40	1	京都	66.13
2	岩手	99.28	2	東京	65.46
3	山形	99.27	3	広島	61.08
4	石川	99.05	4	神奈川	60.77
5	熊本	98.99	5	兵庫	59.95
6	京都	98.96	6	愛知	58.94
7	和歌山	98.96	7	大阪	58.73
8	島根	98.95	8	奈良	58.12
9	秋田	98.94	9	滋賀	57.99
10	滋賀	98.90	10	山梨	57.94
44	愛知	97.50			

資料:文部科学省
「学校基本調査」

12 愛知県内の高校から愛知県内の大学に進学する学生

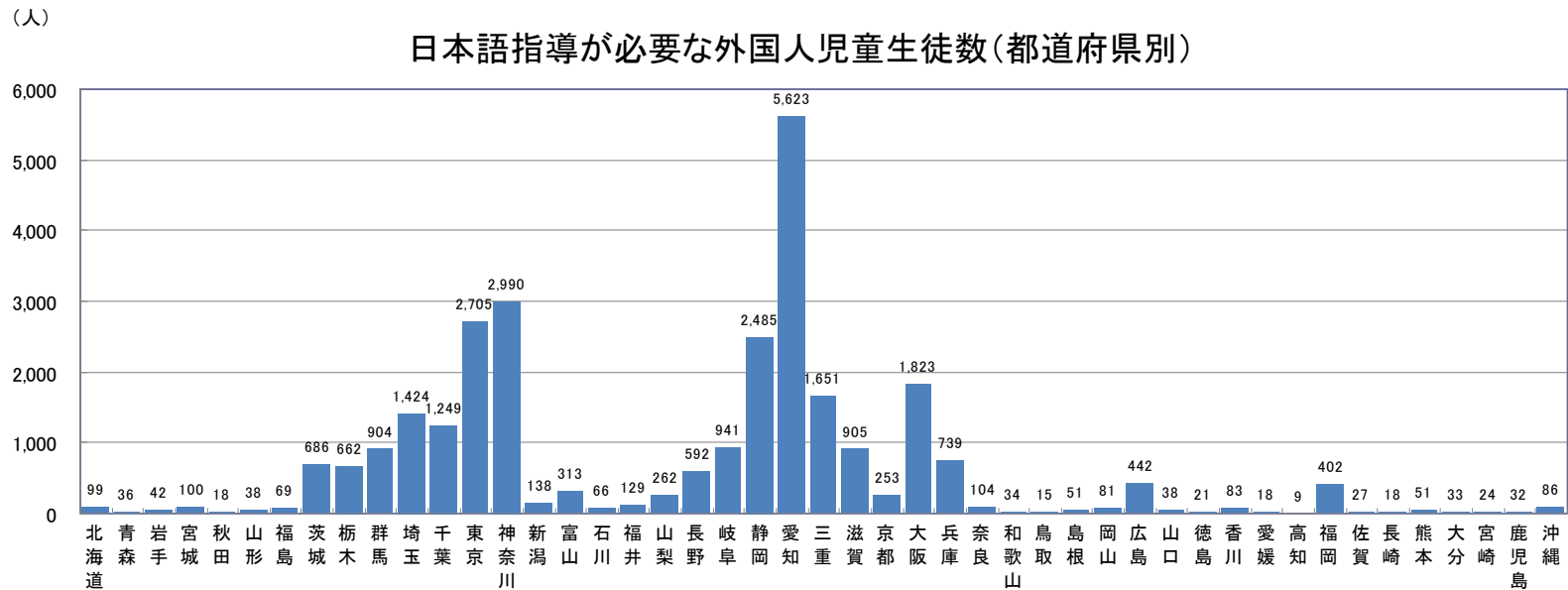
- 平成23年度の愛知県内の高校から大学への入学者数は、35,925人で、そのうち愛知県内の大学へ入学した学生は26,164人。その割合は全国1位となっており、この地域の若者の地元志向の強さを示すデータとなっている。



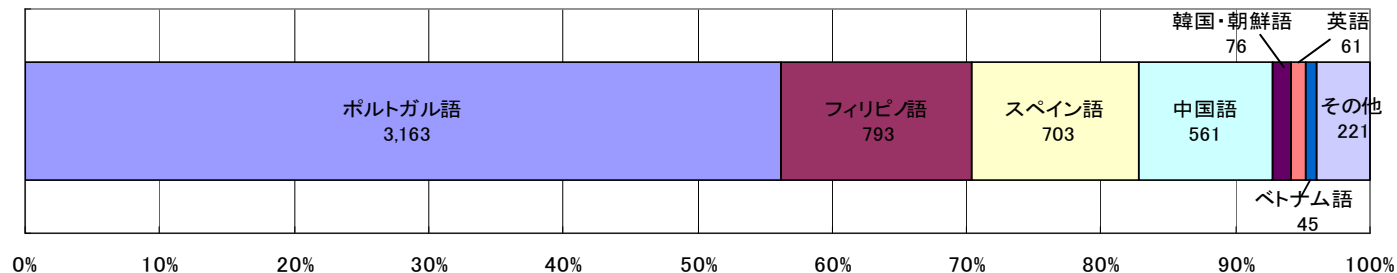
資料: 文部科学省「学校基本調査」

13 日本語指導が必要な外国人児童生徒数

- 日本語指導が必要な外国人児童生徒数は、愛知県が突出して多くなっている。
- 愛知県の日本語指導が必要な外国人児童生徒を母語別で見ると、ポルトガル語、フィリピン語、スペイン語、中国語の順となっている。



愛知県における日本語指導が必要な外国人児童生徒数の母語別内訳



資料: 文部科学省「平成22年度日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査」

14 インターナショナルスクール

- インターナショナルスクール（ここでは国際バカロレアに認定されている学校を抽出）は、2012年3月現在、世界141か国で約3,370校。日本における認定校の数は23校である。
- 東京都の7校に対し、愛知県は名古屋国際学園1校のみ。

名称	都道府県	認定年月
セント・メリーズ・インターナショナルスクール	東京都	1979年9月
カナディアン・アカデミー	兵庫県	1980年9月
サンモール・インターナショナルスクール	神奈川県	1984年7月
横浜インターナショナルスクール	神奈川県	1984年10月
清泉インターナショナル学園	東京都	1986年1月
関西学院大阪インターナショナルスクール	大阪府	1990年10月
加藤学園暁秀高等学校・中学校	静岡県	2000年1月
ケイ・インターナショナルスクール東京	東京都	2002年1月
広島インターナショナルスクール	広島県	2005年4月
東京インターナショナルスクール	東京都	2005年12月
神戸ドイツ学院	兵庫県	2006年6月
京都インターナショナルスクール	京都府	2006年12月
福岡インターナショナルスクール	福岡県	2007年4月
名古屋国際学園	愛知県	2008年5月
玉川学園K-12・玉川大学	東京都	2009年3月
AICJ中学校・高等学校	広島県	2009年6月
立命館宇治中学校・高等学校	京都府	2009年9月
カナディアン・インターナショナルスクール	東京都	2009年12月
東京学芸大学附属国際中等教育学校	東京都	2010年2月
沖縄インターナショナルスクール	沖縄県	2011年7月
ぐんま国際アカデミー	群馬県	2011年10月
つくばインターナショナルスクール	茨城県	2011年11月
同志社国際学院	京都府	2012年3月

文部科学省資料

15 外国人高度人材、留学生

- 愛知県に在留する外国人高度人材は11,864人(平成22年)。わが国の外国人高度人材は東京都に集中しており、全国の4割弱を占める。愛知県、大阪府は6%強で推移。
- 一方、愛知県の大学等に在籍する留学生は、6,706人(平成23年)。わが国全体を見ると、東京都が全国の約1/3を占め、愛知県が5%程度、大阪府が8%程度で推移。

＜外国人高度人材の数＞

単位:人(各年末現在)

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
東京都	66,779 (37.5)	75,541 (38.1)	77,332 (38.3)	75,083 (37.9)
愛知県	11,398 (6.4)	12,761 (6.4)	12,326 (6.1)	11,864 (6.0)
大阪府	11,265 (6.3)	12,058 (6.1)	12,212 (6.0)	12,203 (6.2)
全国	178,057	198,504	201,930	197,980

＜留学生の数＞

単位:人(各年5月1日現在)

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
東京都	40,316 (34.0)	42,371 (34.2)	43,775 (33.0)	45,617 (32.2)	43,188 (31.3)
愛知県	5,774 (4.9)	6,131 (5.0)	6,471 (4.9)	6,773 (4.8)	6,706 (4.9)
大阪府	10,203 (8.6)	10,289 (8.3)	10,576 (8.0)	10,791 (7.6)	10,325 (7.5)
全国	118,498	123,829	132,720	141,774	138,075

※1 ()内は全国に占める割合(%)

2 高度人材数は、在留資格(在留目的別)の「教授」、「芸術」、「宗教」、「報道」、「投資・経営」、「法律・会計業務」、「医療」、「研究」、「教育」、「技術」、「人文知識・国際業務」、「企業内転勤」、「技能」の計

資料:法務省「登録外国人統計」より作成

※ ()内は全国に占める割合。

資料:(独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

16 モノづくりを支える人材

- 23歳以下の青年技能者が技能レベルの日本一を競う技能五輪全国大会で、愛知県は、個々の選手が目覚ましい活躍に加え、最優秀技能選手団賞を平成17年度から7年連続で受賞。こうした人材が、愛知県のモノづくりの強さを支えている。

技能五輪全国大会における愛知県選手の成績

	愛知県の入賞状況						
	金賞	全国順位 (金メダル 受賞者数)	銀賞	銅賞	敢闘賞	合計	全国順位 (入賞者合 計人数)
第49回 平成23年度	11職種 12名	1位	8職種 11名	16職種 24名	15職種 34名	23職種 81名	1位
第48回 平成22年度	7職種 7名	1位	10職種 15名	11名 17名	14職種 33名	19職種 72名	1位
第47回 平成21年度	12職種 13名	1位	11職種 15名	15職種 19名	15職種 29名	21職種 76名	1位
第46回 平成20年度	11職種 11名	1位	14職種 22名	14職種 21名	11職種 27名	21職種 81名	1位

技能五輪全国大会における都道府県選手団賞

	開催地	最優秀技能選手団賞	優秀技能選手団賞		
第49回（平成23年度）	静岡県等	愛知県	東京都	茨城県	神奈川県
第48回（平成22年度）	神奈川県	愛知県	茨城県	神奈川県	新潟県
第47回（平成21年度）	茨城県	愛知県	茨城県	神奈川県	東京都
第46回（平成20年度）	千葉県等	愛知県	東京都	茨城県	山口県

17 知的価値を創出する人材

- 新たな技術や製品、文化等の知的価値を生み出す人材の集積状況を人口当たりで比較すると、科学研究者が17位、技術者が5位、デザイナー等が12位、大学教員数は9位となっている。

人口10万人当たりの知的価値創出人材

<科学研究者>

順位	都道府県	人口10万人当たりの科学研究者数(人)
1	茨城	430
2	神奈川	215
3	徳島	198
4	栃木	188
5	千葉	173
6	東京	151
7	静岡	142
8	京都	140
9	埼玉	138
10	兵庫	134
17	愛知	95

<技術者>

順位	都道府県	人口10万人当たりの技術者数(人)
1	神奈川	3,506
2	東京	2,543
3	千葉	2,358
4	埼玉	2,312
5	愛知	2,019
6	茨城	1,939
7	滋賀	1,898
8	静岡	1,872
9	奈良	1,836
10	兵庫	1,812

<デザイナー等>

順位	都道府県	人口10万人当たりのデザイナー、美術家・写真家(人)
1	東京	608
2	京都	351
3	神奈川	326
4	奈良	274
5	埼玉	257
6	大阪	247
7	千葉	243
8	滋賀	217
9	鳥取	214
10	岐阜	209
12	愛知	95

<大学教員>

順位	都道府県	人口10万人当たりの大学教員数(人)
1	東京	361
2	京都	315
3	石川	211
4	徳島	190
5	宮城	180
6	岡山	166
7	福岡	162
8	栃木	151
9	愛知	138
9	大阪	138

Ⅱ 愛知の教育の特色ある取組

愛知県教育振興基本計画

平成19年度に策定した「あいちの教育に関するアクションプラン」を引き継ぐ「愛知の教育に関するアクションプランⅡ」を、平成23年6月13日に策定。

1 計画の位置づけ

○教育基本法第17条第2項に規定する愛知県の教育振興基本計画

○教育委員会が知事部局、警察本部と一体となり、市町村教育委員会との連携の下で、計画を策定

2 計画期間

平成23～27年度(2011～2015年度)[5年間]

基本理念

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「愛知の人間像」の実現

<めざす「あいちの人間像」>

- かけがえのない自他の命を大切にすることのできる人間
- 自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間
- 健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間
- 次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間

取組の視点

- 家庭・地域・学校それぞれの主体性ある取組と連携の強化
- 全てのライフステージで切れ目のない学びが可能となる環境づくり
- 県・市町村の役割分担を踏まえた連携・協力

重点目標

- 目標1 幅広い県民の参加により道徳性・社会性の向上を図ります。
- 目標2 発達段階に応じたキャリア教育を充実します。
- 目標3 学習意欲の向上を図り、確かな学力を育成します。
- 目標4 豊かな人生を送るための生涯学習を充実します。



少人数教育

<少人数学級>

愛知県では、平成16年度から小学校第1学年で、平成20年度から小学校第2学年で、35人学級を導入。また、平成21年度から、中学校第1学年でも35人学級を導入

※平成23年度から小学校第1学年の35人学級は法制度化

<少人数指導>

平成5年度から導入し、徐々に拡大。

[実施形態]

- ・チームティーチング(TT) ... 1学級に複数の教員が同時に入り指導する。
- ・小グループ分け指導 ... 1学級を、均質な小グループに分割して指導する。
- ・習熟度別指導 ... 1学級を学習習熟度別に分割して学習進度別に指導する。

※実施率: 小学校90.3%、中学校97.8%

高校教育の多様化(1)

<生徒の多様なニーズへの対応(公立)>

○総合学科(10校)

岩倉総合／蒲郡／鶴城丘／杏和／知多翔洋／南陽／豊田東／岡崎東／瀬戸北総合／西陵(名古屋市立)

○コース制設置校(10コース、23校)

コース名	設置校
情報活用コース	守山、犬山、尾西、東浦、衣台、幸田、安城南、一色、豊橋西
福祉実践コース	福江、一宮北
国際コミュニケーションコース	日進、阿久比
自然探究コース	田口
スポーツコース	海翔
環境コース	海翔
コスモサイエンスコース	瑞陵、春日井、岡崎北
国際理解コース	津島、常滑、刈谷北、豊橋東
人間環境コース	日進
自然科学コース	常滑、加茂丘

○総合選択制(3校) ※コース制より多様な科目選択が可

海翔／常滑／新城

高校教育の多様化(2)

<理数教育>

- 文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール事業の活用(愛知県では8校が指定)
- 高校生が大学や研究所の高度な内容を学ぶ機会の提供

[知の探究講座]

- ・連携大学:名古屋大学、名古屋工業大学、愛知教育大学、愛知県立大学、豊田工業大学、豊橋技術科学大学
- ・高大連携により、夏季休業中等において継続した講座を実施。

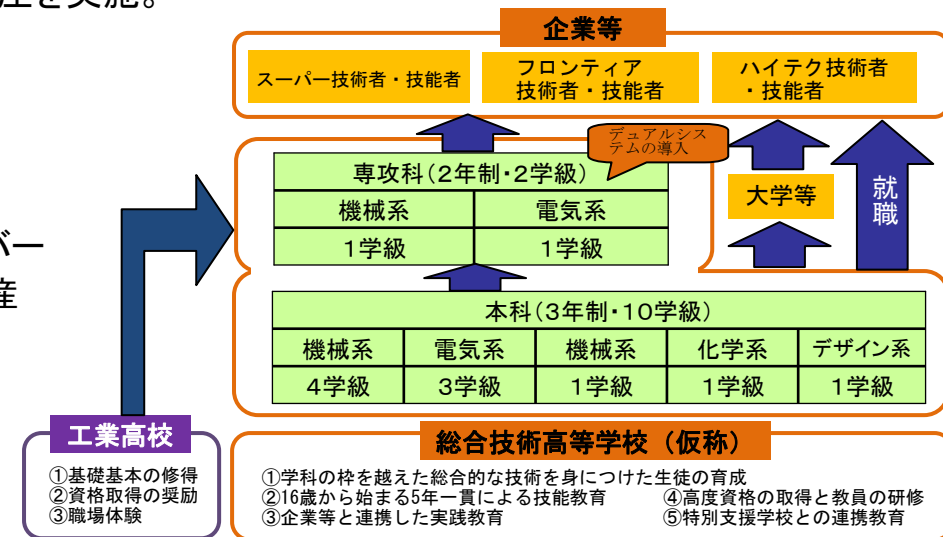


スーパーサイエンスハイスクール事業
(大学での実習の様子)

<モノづくり教育>

- 総合技術高等学校(仮称)の新設[平成27年度開校]
- ⇒愛知県のモノづくりを支える工業高校の中核校

機械、電気、建設、デザインなど、広く工業分野をカバーする学科を設け、学科の枠を越えた科目の選択や、産業界や大学と連携した学習活動の充実を図る。



総合技術高等学校(仮称)のイメージ

<国際理解教育>

- 国際理解教育に関する学科・コース

⇒国際教養科(千種)、英語科(尾北・御津)、国際ビジネス科(愛知商業等6校)、国際コミュニケーションコース(日進、阿久比)、国際理解コース(常滑、津島、豊橋東、刈谷北)、総合学科の系列(県立総合学科高校9校すべてに国際理解に関する系列がある)

- 外国人語学講師の配置等



愛知県における公立高校入試制度

<本県入試制度の推移>

昭和25年度入試	新制高等学校における単独選抜による入学者選抜が始まる。
昭和31年度入試	普通科の通学区域が尾張、三河の二大学区制となる。
昭和48年度入試	学校群制度による入学者選抜が始まる。
平成元年度入試	複合選抜制度による入学者選抜が始まる。
平成19年度入試	見直しをした群・グループ分けによる入学者選抜を実施。

<複合選抜制度>

○趣旨

受験機会の複数化、学校選択の自由の拡大（学校群制度の廃止）、人物評価の多角化（選抜尺度の多元化）

○制度の概要

推薦入学と受験機会の2回ある一般入学の選抜を骨格とする愛知県独自の選抜制度

- ◆通学区域：普通科は尾張と三河の2学区。専門学科と総合学科は県内全域
- ◆推薦入学：全校・全学科で実施
- ◆一般入学：普通科については、学区内の全ての高校を2つの群、さらにA・Bグループに分ける。
※平成19年度入試から、学区内の1・2群どちらの高校とも組み合わせることができる「1・2群共通校」を設置。
専門学科及び総合学科は、県内全ての高校をA・B二つのグループに分ける。

平成24年度入試 群・グループ分け

() は1・2群共通校で内数

学科区分	普通科				専門学科	総合学科	
	尾張学区		三河学区				
	尾張第1群	尾張第2群	三河第1群	三河第2群			
					県内全域	県内全域	
Aグループ	19校 (6)	22校 (6)	13校 (7)	15校 (7)	37校1校舎	4校	79校1校舎
Bグループ	19校 (6)	21校 (6)	12校 (5)	13校 (5)	32校	6校	80校

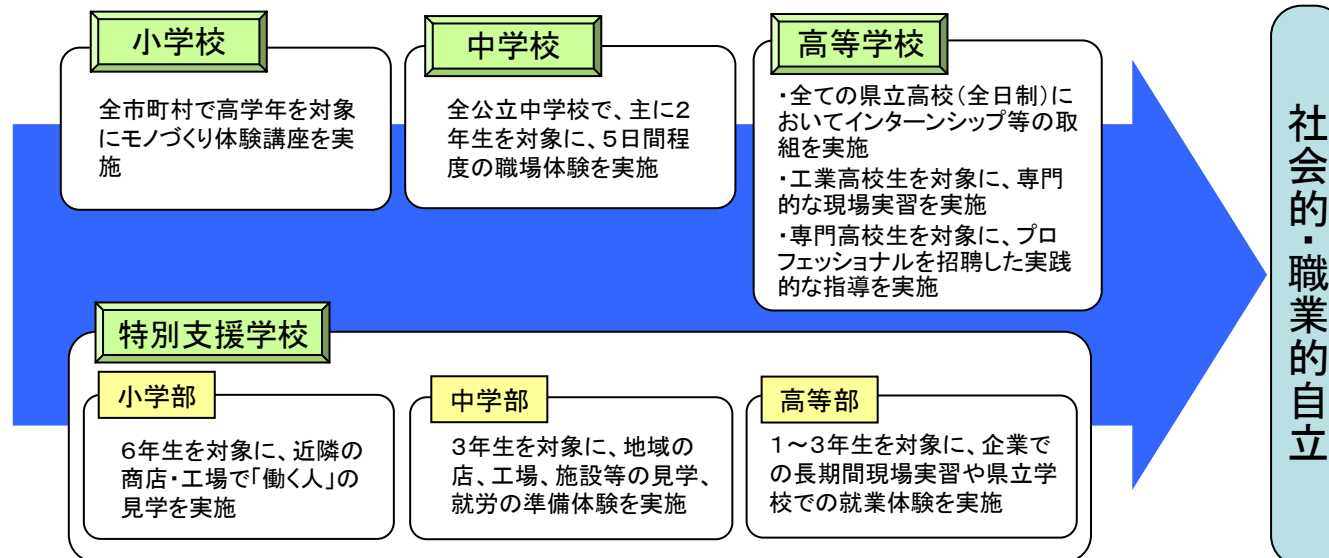
発達段階に応じたキャリア教育

社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育むため、小学校段階から発達段階に応じた体系的なキャリア教育を進めている。

＜キャリア教育推進の主な取組＞

- 小学校から中学校までの発達段階に応じた愛知県版「キャリア教育推進の手引」作成[平成22年度]
- 小・中学校、高校、特別支援学校の児童生徒が継続的に活用できる「キャリア教育ノート」を作成[平成23年度]

＜体系的な体験活動の推進＞



職場体験活動（美容師）



病院でのインターンシップ

私学の振興

＜私学助成＞

公教育の一翼を担い、選択肢の拡大に貢献している私立学校に対し、父母負担の軽減、私学の教育条件の維持向上と私学経営の安定を図るため、経常費補助及び授業料軽減補助を二本柱として、私学助成を実施。

[24年度予算]

総額579億円(前年度比101.7%)

(私立学校設置者への助成)

・経常費補助	38,941,928千円
・施設設備整備費補助	1,000,000千円
・幼稚園特別支援教育費補助	1,063,836千円

(父母に対する助成)

・授業料軽減補助	13,755,084千円
・入学納付金補助	866,305千円

＜公私の連携＞

「愛知県公立高等学校設置者会議」をはじめ、様々な機会を通して公私間の協議や情報交換を行うなど、公私間の連携協力を深めながら、県全体の教育水準の向上を図っている。

最近のトピックス

＜「国連ESDの10年」最終年会合＞

国連が定めた「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」の最終年にあたる2014年、10年間のESDの取組の成果などを取りまとめる最終年会合が、愛知・名古屋で開催される。愛知県では、ESDの推進拠点となるユネスコスクールを2014年までに50校以上に増やすことを目標としている。

※ユネスコスクール:ユネスコ憲章で示されたユネスコの理想を実現するため、環境・平和や国際的な連携を実践する学校



＜技能五輪全国大会・全国アビリンピック(全国障害者技能競技大会)＞

23歳以下の青年技能者が技能レベルの日本一を競う「技能五輪全国大会」、障害者の職業能力の向上と社会の理解を高めることを目的とした「全国アビリンピック(全国障害者技能競技大会)」が愛知県で開催される。

○技能五輪全国大会

◆日時:平成26年11月28日～12月1日

◆場所:吹上ホールはじめ、名古屋、尾張、西三河、東三河の計13箇所

○全国アビリンピック

◆日時:平成26年11月21日～23日

◆場所:ポートメッセなごや



＜第23回全国産業教育フェア愛知大会＞

次世代の産業界を担う人材の育成と産業教育の一層の充実・発展をめざし、専門高校における日頃の学習成果を広く紹介する。

◆日時:平成25年11月9日(土)、10日(日)

◆会場:[メイン会場]愛知県産業労働センター(ウィンクあいち)、愛知県体育館
[サブ会場]刈谷市産業振興センター、刈谷市総合文化センター